

千葉県小学生バレーボール連盟

新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン（2022 改訂）

本ガイドラインは、コロナ禍での大会開催について国や自治体のガイドラインを参考に千葉県小学生バレーボール連盟として作成したものです。大会主催者、参加者の全てがガイドラインに沿って活動していただくようご理解ご協力をお願い致します。

◇大会開催に当たっての基準

前提条件

- ① 感染拡大防止のために県小連及び支部が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項が周知徹底されていること
- ② 大会時期に地域の生活圏において非常事態宣言等の大会自粛要請がないこと（県、市町村単位で事前に確認）
- ③ 大会後に新型コロナウイルス感染症罹患の報告を受けるシステムの確立と、大会主催者のみでなく参加者が感染拡大防止に取り組むこと

開催・実施における留意点

- ① 遵守事項の周知徹底（本ガイドラインを HP に掲載）
- ② 感染防止のための遵守事項を大会開催要項へ記載
- ③ 参加選手・ベンチスタッフ・保護者、大会役員等大会開催施設使用者全員の入館者名簿の提出
- ④ 大会会場別の感染拡大防止対策にも協力し、遵守事項に従い運営する

※上記基準が満たされない場合は大会開催を中止する判断をすることや開催後に基準が満たされないことがあった場合は、主催者判断により参加を見合わせたり途中退場を求める措置をとる

◇大会開催のための具体的対応

1) 大会開催要項記載事項

大会参加時の対応 大会参加者には、以下のとおり感染予防および感染拡大防止のための措置を取ります。

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること
 - A) 体調がよくない場合（発熱（37.5℃以上）・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - B) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - C) 直近 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ※大会当日に「入館者名簿」（県小連 HP よりダウンロード）を提出し、記載内容についてはチーム責任者が必ず確認する
- ② 参加者は全員マスクを着用すること（競技中は熱中症への配慮もする）
 - ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること（チームで消毒・使い捨てシート・ゴミ袋等の持参。マイタオルの持参など）
 - ④ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保し、密にならないよう最大限の配慮をすること（できるだけ 2 m 以上／障害者の誘導や介助を行う場合を除く）
 - ⑤ 大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと 応援は拍手に限定する
 - ⑥ 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと
 - ⑦ 大会終了後 1 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
 - ⑧ 感染リスクを考慮し原則として 1 チームでの参加者数を選手 12 名、チームスタッフ 3 名、保護者等 12 名の合計 27 名を上限とする。ただし、体育館での人数入場制限がある場合は、その制限人数が優先される
 - ⑨ 上記事項が遵守されないと認められた場合、主催者判断で大会参加を取り消したり途中退場を求める場合がある

2) 参加申し込みを受けたチームへの対応

HPより「入館者名簿」をダウンロードプリントし、下記を参考に参加者の大会1週間前からの検温・健康観察・行動などを確認し、当日までに作成した「入館者名簿」をチーム代表者が提出することを依頼する

①大会前1週間における参加者の健康状況を確認

- A) 37.5℃を超える発熱
- B) 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常
- C) 体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、疲れやすい、息苦しい（呼吸 困難）等
- D) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- E) 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方の有無
- F) 自宅以外の主な行動記録で特記すべき事項

※上記事項に当てはまる場合は原則として参加を見合わせる。感染症とは無関係であることがはっきりしている場合は備考欄に特記する。

②「入館者名簿」の内容

- A)参加者（選手・スタッフ・保護者）氏名
- B)当日の体温
- C)大会前の健康確認（備考欄に特記事項を記入）
- D)代表者の連絡先等

3) 大会会場と活動時の留意点

- ①競技を実施する際には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う。窓を開けることができる環境でも、競技中は遮光の関係で暗幕を閉じる必要があるが、セット間など定期的に開放して外気を取り入れる等の換気を行うこと。空調設備の活用や、必要に応じて扇風機を併用するなどの工夫を心掛ける
- ② 参加チームについては試合コート1面あたり4チームを超えない範囲での試合数に限定する。ただし、体育館の施設アリーナ面の広さ、観客席などの状況に応じて主催者側の判断で増減する
- ③ 会場設営に関しては、ベンチ間を広くとるか、広さが十分に確保できない場合はベンチを設置しなくて良い。（主催者判断）
- ④ 会場後の合同練習については、密を避けるために設定時刻を設け練習するチームをコントロールする。また、必要に応じて会場責任者の判断で合同練習を中止する
- ⑤ 会場やアリーナや出入り口の広さが十分に確保できず、選手の入退場時に密な状態になりそうな場合は、競技役員により時間差を設けコントロールする
- ⑥ 開閉会式・入場行進等の式典は、会場スペースなどに配慮し、極力簡略化し密を避ける工夫をする
- ⑦ 配慮事項が遵守されていない状況が起きた場合や参加者に協力を求める場合は、随時放送等を利用し注意喚起と周知を行う
- ⑧ 会場責任者は大会会場の施設管理者と事前に詳細を打ち合わせし、体育館の感染症対策に準じた対応を事前にHPなどで周知する

4) 競技・審判の準備及び配慮すべき事項

- ①試合球は1コートにつき2個以上準備し、試合前、タイムアウト時、セット間、試合間において記録席にて役員スタッフまたは該当チームスタッフが消毒を行う
- ②線審のフラッグ、得点板、モップ等、試合で使用使用する備品類のこまめな消毒など衛生対応に留意する
※ラインジャッジのフラッグは、各チーム持参が望ましい
- ③審判員の笛については、飛沫飛散防止の観点より電子ホイッスルを使用する
- ④会場責任者並びにコート責任者は、感染対策とともに熱中症のリスクにも備えること。特に、競技中にマスクを着用している

選手がいる場合、水分補給を忘れてしまうことにより体温が上昇することがあるため、こまめに水分を補給するように指導する

⑤ 出入口付近の状況により、密にならない対策として試合間の入退場のコントロールを行う

⑥ コイントス時、キャプテンと審判間の挨拶や試合前後の握手に関しては一礼などでこれに代える形とする

⑦ 監督会議等で下記の試合中の留意点を必ず伝え、試合前にも確認する

- ・ 試合前などの円陣や、ベンチでの集合時においてもできるだけ密集・接触を避ける
- ・ 競技中のハイタッチは禁止とし、腕のタッチにとどめ、タッチもできるだけ控える
- ・ 競技中、鞋底を手でさわらない
- ・ ネット際では相手に向けた状態での発声は控える
- ・ ベンチでは離れて座り、マスクを着用する。ウオームアップエリアでも密に気をつけ私語は慎む
※ウオーム アップエリアでも、マスク着用。ただし、熱中症にならないように十分に気を付ける
- ・ タオル、給水ボトル等の共用禁止

5) 当日の参加受付時の留意事項

大会当日の受付時に参加者が密になることを防止し、安全に大会等を実施するための受付を行う

- ① 会場入場時の検温 ※非接触型検温計を使用 37.5℃以上の発熱者の入場はできない
- ② **入館者名簿を確認し受け取る。(1ヶ月の保管)**
- ③ ソーシャルディスタンスの確保のため、参加チームの時差入場を行うなど開場時の混雑を極力避けること
- ④ 体育館入口には、手指消毒用のアルコール等を設置すること
- ⑤ 軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかけること

※入場時間の設定（主催者・会場責任者の指示に従うこと）

6) 施設の衛生管理と留意事項

トイレ・手洗い場所

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。※和式トイレの場合は、この限りでない。
- ③ 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する
- ④ **利用者は、マイタオル・ハンカチを使用する**
- ⑤ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する

更衣室、休憩・待機スペース

- ① 他の参加者と密にならないよう広さにゆとりを持たせる
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者数を制限する等の措置を講じる
※控室・更衣室は可能な限りチームごとに利用し最大12名までの人数制限を設ける。
- ③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）についてはこまめに消毒する（チームごとで利用した後はチームごとに消毒作業を行ってもらう）
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する

※大会本部、役員控え室なども上記に準じる

7) 観客の管理

- ①基本的にはチームの制限人数以外の観客の入場は認めない事を周知徹底する。入館者名簿に記載されている者以外の保護者等の入場が認められたチームは、ガイドラインを遵守していないと認め、主催者判断により大会参加を見合わせたり途中退場を求める場合がある
- ②入場者についてはマスクの着用を徹底したうえ、入館時に検温を行う。観客出入口付近通路にアルコール等の手指消毒剤を設置するほか、観客同士が密な状態とならないよう必要に応じ、あらかじめ観客エリアを制限し応援のための来場者を制限して観客同士が密な状態にならないよう対応する（特に試合前後には観客の一斉移動が起こりやすいため、本部による放送指示の元、コート責任者がコントロールを行う）
- ③ 応援については、感染予防の観点から拍手のみとし大声での声援を送らないことやスティックバルーンなど息で膨らませて使用する用具の使用を控えることなどを、トラブル回避のため参加チームに対し本ガイドラインの事前周知を徹底すること
- ④ 会場内での飲食は 指定された場所のみとする。外履きは会場の玄関や下駄箱に入れず、必ず袋を持参し使用すること
- ⑤ ゴミの廃棄 鼻水、唾液などが付いたごみや使用済のテーピングなどはビニール袋に入れ密閉して縛り各自で自宅へ持ち帰る
会場へは一切のゴミを廃棄してはならない
- ⑥ 落とし物、忘れ物等については当日アナウンス等で案内するが、引き取りのない場合は衛生上の観点から即日廃棄すること

8) その他の留意事項

- ①運営スタッフ（大会役員）も入館時に検温・手指消毒を行う。
- ②大会主催者は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会当日に参加者より提出を求めた書面について、保存期間（少なくとも1か月以上）を定めて保存しておくこと。
※1か月の保存期間が経過した場合は、立会者のもと廃棄する
- ③会場への移動手段で公共交通機関を使用する場合は、分散して乗車するなど密にならないように最大限の配慮を行う
- ④配付書類の廃止…電子化 書類の手渡しによる感染拡大を防ぐため、書類は極力電子化して配付する（検討）
- ⑤来賓の招待の中止…大会前からの健康確認等が難しいことから招待は控える